

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	水産振興課(水産振興担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	外来漁船誘致経済効果誘発促進事業	事業番号	12569

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-4	水産食品製造業の振興
	施策目標	豊かな水産資源を活かした水産食品製造業が盛んなまち	

2 事務事業の目的

目的	外来漁船の誘致拡大に向けた取組みを進めることにより、水揚げのほか、乗組員の市街地区への誘引による交流人口の拡大を図り、さらなる地域経済活性化につなげる。
成果	市と漁協によるトップセールスを行い、船主あての誘致活動を展開し、入港隻数の増加を図っている。また、外来漁船員限定の「市内銭湯無料入浴券1回分」「ワンドリンクサービス1回分」綴込みした入港歓迎リーフレットを配布し市街地区へ誘引し、地域経済の活性化につなげている。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	外来漁船誘致トップセールス、外来漁船乗組員に対する銭湯入浴券・ワンドリンクサービス券の配布。						
	28	外来漁船誘致トップセールス、外来漁船乗組員に対する銭湯入浴券・ワンドリンクサービス券の配布。						
	29	外来漁船誘致トップセールス、外来漁船乗組員に対する銭湯入浴券・ワンドリンクサービス券の配布。						
	30	外来漁船誘致トップセールス、外来漁船乗組員に対する銭湯入浴券・ワンドリンクサービス券の配布。						
	31	外来漁船誘致トップセールス、外来漁船乗組員に対する銭湯入浴券・ワンドリンクサービス券の配布。						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		2,338	2,338	2,338	2,338	2,338	11,690
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		2,338	2,338	2,338	2,338	2,338	11,690
	人員(人工)		0.67	0.67	0.67	0.67	0.67	
職員費(人員×8,081千円)		5,414	5,414	5,414	5,414	5,414	27,070	
総事業費		7,752	7,752	7,752	7,752	7,752	38,760	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H28)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	新規外来船入港延べ隻数	2隻	10隻	20隻
	無料入浴券年間利用人数	1,000人	1,000人	1,200人

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	安定した水揚げにより、水産加工業をはじめとした市内関連産業が成り立つ。
-------------------	-------------------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 外来船による水揚げ、また、外来漁船員が地域経済にもたらす効果は非常に大きいので、かなりのニーズがある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市全体に効果をもたらす事業であり、市が実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない ロシア水域におけるサケ・マス流し網漁禁止の影響や近年の漁業資源不足による影響は大きく、緊急性はある。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 他の手段がなく、現状として妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 漁協や関係団体で組織しており、協議のうえ実施しているので、概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 外来船による水揚げ、また、外来漁船員が地域経済にもたらす効果は非常に大きく、事業の有効性は非常に高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 事業効果の把握などを行い、効果的な事業推進を念頭に計画どおり実施されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する

作成年度

平成28年度